

令和7年度 北海道東川高等学校自己評価及び学校関係者評価

1 学校教育目標

- 他人の気持ちや考えを理解し、適切に行動する人材の育成 **【美風】**
- 自ら目標を定め、その達成に向け主体的に努力する人材の育成 **【自律】**
- 互いに高め合い、協働して社会に貢献する人材の育成 **【創造】**

2 育成を目指す資質・能力

学ぶ意欲と東川mindの育成

- 東川mind
  - 福祉mind (受容力、共感力、至誠) の育成
  - Glocal mind (社会性、協働性、コミュニケーション力) の育成
  - Challenge mind (主体性、行動力、創造力) の育成

3 重点目標

- ① 学習や特別活動等に主体的に取り組み、自分の夢や目標を大切に、達成に向けて継続的に努力する生徒を育成する。
- ② 社会性を身につけ、自律的に行動し、他者を思いやることのできる生徒を育成する。
- ③ 様々な人と関わり、自己の在り方や生き方について深く考え、社会で生き生きと活躍できる生徒を育成する。

4 評価結果

| 分野領域       | 評価項目  | 記号 | 改善の方策  | 自己評価と改善方策の適切さ |
|------------|---|----|--|---------------|
| 教育目標       | 1 本校の教育目標は、生徒の実態と保護者や地域の方々の願いを踏まえたものとなっていますか。                 | B  | 生徒や保護者、また学校関係者の声に耳を傾ける機会を維持し、改善を継続的に検証する。                    | A             |
|            | 2 教育目標の具現化や「育成を目指す資質・能力」を身に付けさせることを意識して、日常の教育活動を行っていますか。      | B  | 地域の特色等を生かした教育課程を再編・実施し、各教育活動と「育成を目指す資質・能力」との関連性を高める。         | B             |
| 学習指導       | 3 生徒が意欲的に学ぶことができるよう、分かりやすい授業を行い、指導方法や指導形態等の工夫改善に努めていますか。      | B  | 授業評価を生かしながら、指導力向上に向けた校内研修（ICT活用を含む）を充実する。                    | A             |
|            | 4 基礎学力の定着及び学力向上に向けた取組を行っていますか。                                | B  | 習熟度別授業や朝学習の取組を検証し、スタディサプリの活用等により家庭学習を促進を図る。また、東川町公設塾との連携を図る。 | B             |
|            | 5 「総合的な探究の時間」の計画をすすめることができましたか。                               | B  | 育成を目指す資質能力と関連付けを明確にし、地域の企業等と連携を強化しながら計画・実施する。                | A             |
| 生徒指導       | 6 生徒に法令や生徒心得を遵守する姿勢が育ち、基本的な生活習慣が確立され、主体的に行動ができるような指導を行っていますか。 | B  | 学習活動や進路指導など全ての教育活動の場で、行動の進路指導など全向性の高い教育活動の構築を目指す。            | B             |
|            | 7 他を思いやり、尊重する意識を高めるような指導を行うとともに、いじめの未然防止に取り組んでいますか。           | B  | いじめの未然防止や望ましいコミュニケーションの取組を充実に実行する。                           | A             |
|            | 8 生徒同士の協働を推進し、行事の活性化を図ることができましたか。                             | B  | 委員会活動の充実を継続させ、生徒個々の研修活動などとして、リーダーの育成に注力する。                   | A             |
| 進路指導       | 9 望ましい勤労観や職業観を身に付けるための指導を進めていますか。                             | B  | 予測困難な時代を見据え、「東川学」やインターンシップ等、校内外の様々な人から学ぶ機会を充実する。             | A             |
|            | 10 進路希望に関する情報や資料提供等を適切に行い、生徒の適性や希望を生かすことのできる進路指導体制ができていますか。   | A  | 進路便りを充実させ、自己理解を深める活動や生徒の特性に応じた指導・支援を継続する。                    | B             |
| 健康安全       | 11 健康指導・交通安全や美化活動などの生活安全に関する指導が適切に行われていますか。                   | B  | 交通安全教室等や1日防災学校を現実的に即した内容となるよう改善を図る。                          | A             |
|            | 12 個人面談や教育相談体制の充実など、生徒一人ひとりを大切にしている組織体制ができていますか。              | B  | 教育相談・サポート委員会における役割分担を明確にすることにより、支援の充実及び組織体制の強化を図る。           | A             |
| 信頼される学校づくり | 13 保護者や地域と連携・協力した教育活動が進められていますか。                              | B  | P T A 活動、公開授業や学校行事等において連携しやすくなる方策について工夫改善を図る。                | A             |
|            | 14 保護者・地域に積極的に情報提供するなど、開かれた学校づくりを意識し、推進していますか。                | A  | 本校の広報活動について、学校だよりや学校HP、SNSなどを効果的に活用した取組を継続させる。               | A             |
| その他        | 15 業務を組織的に行うとともに、効率化に努めるなど、時間外勤務縮減に向けた取組ができていますか。             | B  | 引き続き、業務の平準化を念頭に、校務分掌の構成・運営に努める。                              | B             |